

令和3年度高知県高等学校体育大会

なぎなた専門部 新型コロナウイルス感染拡大防止対策ガイドライン

本専門部の主管大会における新型コロナウイルス感染対策を下記の通り定める。

1 基本的な考え方

【基本方針の作成に当たって】

- (1) 基本方針の作成に当たっては、国および県や全国高等学校体育連盟、日本スポーツ協会などが示すガイドライン等を基本とし作成する。
- (2) 競技別の感染症拡大防止対策の実施に当たっては、競技特性に応じた対応の必要性から当該中央競技団体が示す内容を最大限尊重する。
- (3) 競技別感染症拡大防止対策の作成に当たっては、競技団体と競技専門部間による連携の下、内容等の整理をする。

【コロナ禍における大会運営について】

- (1) 選手・役員等をはじめ大会関係者全員の安全・安心の確保を最優先事項とする。
- (2) 大会実施の可否、実施時における応援者及び観客への対応等重要事案の決定に際しては、県教育委員会・県高体連事務局及び競技団体等関係機関と綿密な連携の下、決定する。
- (3) 各競技の運営に当たっては、開催地自治体（衛生部局等を含む）及び使用する施設等が示す感染症拡大防止に向けた方針等に従うものとする。
- (4) 各競技別の開会式・閉会式及び諸会議については感染拡大防止の観点から、中止または必要最小限の規模で実施を検討する。

【新型コロナウイルス感染症拡大防止について】

- (1) 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）を回避する。
- (2) 身体的距離（ソーシャルディスタンス）を確保する。
- (3) 手洗いを徹底する。
- (4) マスクの着用（ただし、熱中症や競技特性に応じた対応に留意する）を徹底する。
- (5) 屋内競技の実施においては定期的な窓開等により換気に留意する。

【新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮について】

感染された方をはじめ、そのご家族や友人などに対して不当な取扱いをするインターネット上のサイトや、SNS等に誹謗中傷の書き込みを行うといった差別やいやがらせ、いじめ等は決して許されるものではありません。

感染者の方々等への差別や偏見等が広がることは、人々の不安を煽り、感染拡大防止の取組の妨げにもなります。

感染のリスクは誰にもあります。その中で、感染症のまん延を防ぐには、日頃より感染防止に努め、一人ひとりがお互いを思いやる気持ちをもって冷静に行動することが何よりも大切です。

- ①実施専門部は、感染防止のために実施すべき事項や参加者が厳守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（大会の受付場所等）に掲示すること。
- ②実施専門部は各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること。
- ③参加校のエントリー選手・帯同部員（補助員）・引率者・監督・外部指導者等（以下「大会参加者」という）は、【様式 1-①②】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票〈教員・指導者・生徒〉を各競技大会 2 週間前から大会参加終了日までチェックし、大会初日には【様式 2-①】高体連主催大会における大会前の健康状況等確認についてと【様式 1-①②】の写しを大会本部に提出すること。また、大会日毎に【様式 2-②】高体連主催大会における大会期間中の健康状況等確認についてを大会本部へ提出すること。万が一感染者が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、【様式 1-①②】の原本について、保存期間（1 月以上）を定めて保存しておくこと。
- ④実施専門部は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報に十分注意しながら、大会参加者から提出された【様式 2-①②】の原本および【様式 1-①②】の写しについて、保存期間（1 月以上）を定めて保存しておくこと。
- ⑤大会役員等は【様式 1-③】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票〈大会役員等〉（個人書式）を大会終了日までチェックし、保存期間（1 月以上）を定めて保存しておくこと。なお、チェック期間に体調不良等が生じた場合には競技担当者へ連絡を取り参加の可否について確認すること。また大会終了後 2 週間以内に体調不良が見られた場合には、実施専門部へ報告すること。
- ⑥参加校及び実施専門部は参加者に陽性者・濃厚接触者が確認された場合、保健所や医療機関の指示に従うこと。
- ⑦参加校は大会終了後も【様式 1-⑤⑥】高体連主催大会参加後 体温・体調チェック記録票〈教員・指導者・生徒〉を用い、2 週間に渡りチェックを継続し、大会終了後 1 月以上保存すること。
また、大会終了後 2 週間以内に陽性者・濃厚接触者・接触者が発生した場合には、実施専門部に対して速やかに報告すること。実施専門部は報告を受けた場合には、保健所や医療機関の指示に従うこと。
- ⑧取材や写真撮影を希望する団体は事前に実施専門部へ連絡するとともに【様式 1-④】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票〈取材団体等〉をダウンロードし、各競技大会 2 週間前から大会参加終了日までチェックすること。大会当日は各競技受付へ【様式 1-④】提示し、参加者名簿へ必要事項を記入したのち入場すること。大会終了後 2 週間以内に体調不良が見られた場合には、実施専門部へ報告すること。

【様式取扱一覧】

[高知県高等学校体育連盟 HP <http://www.kochinet.ed.jp/kochi-htaiiku/>] より DR 可

様式	作成者	内容	保存場所	保存期間
【様式 1-①②】	参加校	・ 2 週間体調チェックし作成 ・ 大会期間中もチェックする ・ 求めがあれば提出	各校顧問	大会終了後 1 月以上
【様式 1-③】	大会役員等	・ 2 週間体調チェックし作成 ・ 大会期間中もチェックする ・ 求めがあれば提出	作成者	
【様式 1-④】	取材や写真撮影を希望する団体	・ 2 週間体調チェックし作成 ・ 会場受付にて提示 ・ 大会期間中もチェックする ・ 求めがあれば提出	作成者	
【様式 1-⑤⑥】	参加校	・ 大会後 2 週間体調チェックし作成 ・ 求めがあれば提出	各校顧問	
【様式 2-①】	参加校 (学校長)	・ 大会前 2 週間の健康チェック内容を学校長が確認し、公印を押印し作成 ・ 大会当日に顧問が大会本部へ【様式 1-①②】の写しを添えて提出	専門部	
【様式 2-②】	参加校	・ 大会日毎に作成 ・ 大会参加を自粛するものがある場合は所属長および実施専門部へ状況を報告 ・ 大会本部へ提出	専門部	

※【様式 2-①②】は提出がない場合、原則試合への出場が認められないので各校顧問は注意すること。

(2) 当日の参加受付時の留意事項

実施専門部は、大会当日の受付時に参加者が密になることへの防止や、安全に大会を開催・実施するため、以下に配慮して受付事務を行うこと。

- ①受付には、手指消毒剤を設置すること。
- ②参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと。
- ③受付を行うスタッフにはマスクを着用させること。
- ④人と人とが対面する場所は、経費面を考慮して、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること。
- ⑤発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように、貼紙などにより注意を促すこと。
- ⑥新型コロナウイルス接触確認アプリ等の通知サービスを積極的に活用すること。

(3) 大会参加者への対応

①体調の確認

実施専門部は大会参加者に以下の事項が記載された【様式1-①②】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票〈教員・指導者・生徒〉を各競技大会2週間前から大会参加終了日までチェックさせ、学校ごとに【様式2-①】高体連主催大会における大会前の健康状況等確認についてと【様式1-①②】の写しを提出させること。

また、【様式2-②】高体連主催大会における大会期間中の健康状況等確認についても大会日毎に大会本部へ提出させること。

提出に関しては個人情報の取り扱いに十分注意し、引率責任者（顧問教諭等）が提出すること。

●大会当日の体温

●大会前2週間における以下の事項の有無

- ア 平熱を超える発熱はないか
- イ 咳、咽頭痛など風邪の症状はないか
- ウ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）はないか
- エ 嗅覚や味覚の異常はないか
- オ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触はないか
- カ 同居家族や身近な知人で感染が疑われる方はないか
- キ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がないか

※参加校は当日の参加について、大会参加前2週間の健康観察状況（上記ア～キ）と当日の状況から適切に判断し、安全・安心の確保を最優先考え決めること。

※各中央競技団体ガイドラインにて大会参加の判断基準が定められている場合はその基準を尊重し、「競技別の感染症拡大防止対策ガイドライン」へ明記すること。

②マスクの準備

引率責任者（顧問教諭等）は、大会参加者がマスクを準備しているか確認すると同時に、着用についても徹底指導すること。なお、競技中のマスクの着用は大会参加者等の判断によるもの（※）とするものの、参加の受付、着替え、表彰式等、競技を行っていない間、特に会話するときには、マスクを着用すること。

※マスクを着用して競技を行った場合、十分な呼吸ができず人体に悪影響を及ぼす可能性があることに留意するとともに、適宜周知すること。

③大会参加前後の留意事項

大会参加者は、大会前後のミーティング等においても、3つの密を避けること、会話時にマスクを着用すること、黙食など感染対策に十分配慮すること。

(4) 実施専門部が準備すべき事項

①手洗い場所

実施専門部は、大会参加者が大会開催・実施の間に手洗いをこまめに行えるよう、下に配慮して手洗い場所を確保すること。

- ア 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- イ 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をすること
- ウ 手洗い後に手を拭くため、参加者にはマイタオルを持参させること
- エ 手洗いが難しい場合には、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- オ ジェットタオルは稼働を停止すること

②更衣室、休憩・待機スペース

更衣室、休憩・待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられることに留意すること。実施専門部は更衣室や、一時的に休息するための休憩スペース、参加者等が参加前の確認を受ける待機スペース（招集場所）について以下に配慮して準備すること。

- ア 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密となることを避けること
- イ ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に滞在する人数を制限する等の措置を講じること
- ウ 室内又はスペース内で複数の参加者が振れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカー等の取手、テーブル、イス等）については、可能な限り消毒すること。
- エ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること。

③洗面所（トイレ）

洗面所（トイレ）についても感染リスクが比較的高いと考えられることに留意すること。実施専門部は、洗面所（トイレ）について、以下に配慮して管理すること。

- ア トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、可能な限り消毒すること。
- イ トイレのふたを閉めて汚物を流すよう表示すること
- ウ 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- エ 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をすること
- オ 手洗い後に手を拭くため、参加者にはマイタオルを持参させること
- カ ジェットタオルは稼働を停止すること

④飲食等について

実施専門部は、参加者が飲食等をする際は、以下に配慮すること。

- ア 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう呼び掛けること。
- イ 飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップを使用し、共有はしないこと
- ウ 飲食物を取り扱うスタッフには必ずマスクを着用させること

⑤観客について

- ア 有観客および無観客等の判断について

安全・安心の確保を最優先事項とし、判断する。判断の際には下表「令和 3 年度第 74 回高知県高等学校体育大会に係る観戦について」を用いる。

**本年度県体については令和3年5月6日付け3高知高体連
第11号「令和3年度第74回高知県高等学校体育大会に
係る観客の取り扱い等について（通知）」で参加校へ通知した
とおり、全競技無観客で開催する。**

令和3年度第74回高知県高等学校体育大会に係る観戦について（*高知県内の感染拡大状況によって延期及び中止する場合がある。）				
県の ステージ	学校や観戦者（保護者等）に お願いすること	各競技専門部が行うこと	観戦者の入場の可否について	
			エントリー外の部活動生徒	保護者等
緊急事態			禁止	禁止
特別警戒				
警戒	<p>【健康確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観戦希望者は学校（顧問や校内担当教員等）より指定様式1-③を受け取り、観戦予定日2週間前～観戦最終日まで体温・体調等を記録する ↓ ○観戦希望者は様式1-③を観戦最終日より1月保管し、主催者等からの求めに応じて提出できるようにする ↓ ○顧問又は学校担当教員は主管専門部が示した運用方法を確認し（許可証や一覧表等）来場の手続きを確める <p>○COCOA（アプリ）のインストール （感染者が発生した場合、スマホに連絡が来るようになるため、インストールを推奨する）</p> <p>・COCOA（アプリ）のインストールが「済」でない方、又はスマホをお持ちでない方は、会場で感染者が発生した場合に、許可証に付随していた観戦予定者申請書をもとに学校から連絡することがある</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○入退場ゲートの設置 <ul style="list-style-type: none"> ・入場者（許可された方）の確認 ・検温（人員配置し検温を行う） ※県のステージが「注意」または「感染観察」の場合、検温は来場者によるセルフ形式でも可 ・消毒液、マスクの準備 <p>○観戦するエリアを設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会運営エリアと観戦エリアの区別 ・観戦者の座席数（収容人数）の把握 <p>…等</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○観戦者の受入対応が可能な競技は可 ○選手と観戦者とが密にならない会場は可 <p>【具体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外会場で観客席がある場合 ・屋内会場でも試合場と観客席が一定以上の距離が取れる場合…等 ※状況によって入場できる観客数を制限する場合がある
注意	<ul style="list-style-type: none"> ○入場時の検温 ○入退場時の手指消毒 ○マスク着用 ○大声での声援は禁止 <p>○応援する選手・チームの試合が終わりたい、会場を退出すること（会場内を最少人数に止める）</p> <p>○会場内での飲食は禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○会場内の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・観戦者が密にならないようアナウンス等、適宜注意を促す ・観戦方法の周知徹底（大声での声援禁止等） ・収容人数の調整 <p>…等</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○観戦が不可の会場もある（競技会場日程一覧参照） <p>【具体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場の座席数が少ない場合や、観戦エリアが設定できない場合 ・運営上、専門部が入退場ゲートに人員配置ができない場合…等 ※県のステージが「注意」または「感染観察」の場合、検温は来場者によるセルフ形式でも可
感染観察	<ul style="list-style-type: none"> ○一般生徒の観戦が認められた競技会場で観戦する場合は、生徒であることが分かるよう制服で観戦する …等 			

（イベントの開催制限）
高知県対策本部会議
人数上限→会場収容定員の50%以内
（R3.4月末まで）

（一般生徒および一般観客の観戦について）
新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、安心・安全な大会運営を第一に検討を重ねた結果、本年度高知県高等学校体育大会においては、保護者等のみの観戦受け入れとする。

感染症に対する県の対応（ステージ）をもとに、競技ごとに観客の取り扱いについて協議し、県高体連事務局まで報告する。

なお、全競技において統一判断を行うような場合には、事前に各専門部へ連絡するとともに、県高体連事務局および県教育委員会主管課より加盟校へ周知徹底を行う。

イ 観客にお願いすること・専門部が行うこと等

別紙「令和3年度第74回高知県高等学校体育大会に係る観戦について」
および「競技別の感染症拡大防止対策ガイドライン」参照

⑥大会会場

大会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと。

具体的には、換気設備を適切に運転することや、定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと。

⑦ゴミの管理

参加者にゴミを持ち帰ることを義務付けるとともに、その内容を周知すること。

(5) 大会参加者の留意点

①十分な距離の確保

競技の種類に関わらず、競技をしていない間も含め感染予防の観点から、なるべく距離を空ける（感染予防の観点より1~2m程度）。運動強度が高い競技の場合は呼気が激しくなるため、より一層距離を空ける必要がある。

②その他

ア 競技中に唾や痰を吐かないこと

イ タオルの共用はしないこと

ウ 飲食については、指定場所で行い静かにしゃべらず黙食すること

エ 飲みきれなかった飲料等を指定場所以外に流さないこと

(6) その他の留意事項

①宿泊に関しては、宿泊施設関連の業界団体が定める最新の「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」に従うこと

②バス移動に関しては、「貸し切りバスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」に従うこと

③「[競技別の感染症拡大防止対策ガイドライン](#)」については、各中央競技団体や令和3年度全国高等学校総合体育大会高校総体に向け全国各専門部が競技特性に応じ作成した最新のガイドラインを参考に実施専門部ごとで作成すること。

3 競技運営上の感染対策留意事項

(1) 感染防止の3つの基本

① 身体的距離の確保

- ・ 人と人との間隔が、できるだけ2メートル(最低1メートル)空くようにする。

② マスクの着用

- ・ 常にマスク等の着用を徹底する。

③ 手洗い等の徹底

- ・ 手洗い場等に「手洗いは30秒以上」の掲示をする。
- ・ 手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参するよう周知徹底する。
- ・ 監督・引率顧問は、集合時、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食前

後、解散時等、こまめに流水と石けんで手洗いをを行うよう、選手に指導する。

(2) 大会当日

- ① 常にマスクを着用し、咳エチケットを徹底する。
- ② 会場出入り口・トイレなど、所定の場所に手指消毒剤を設置する。
- ③ 会場到着時や試合の前後・食事の前後などに参加者が手洗いをこまめに行うようアナウンスをする。
- ④ 手洗い場に石けんの準備をする。(手洗いが難しいようなら、手指消毒のアルコール等を準備する。)
- ⑤ 更衣の際には、更衣室に1度に入室する人数を、入り口に掲示する。感染予防と更衣室の規模を考慮し、自宅や宿舎から直接来場する選手に対して、事前に着替えを済ませて来るよう事前に通知する。
- ⑥ 会場内は、換気設備を適切に運転するなどして、換気を徹底する。
- ⑦ 大会会場内に「大きな声での会話をしない」・「声での応援をしない」等の掲示をする。
- ⑧ 会場施設内で、複数の参加者が触れたと考えられる場所については、消毒する。
- ⑨ 審判旗や競技委員が使用するタイマー等に関しては、使用者が変わる度にアルコール消毒を徹底する。
- ⑩ 試合に出場する選手については、シールドを装着した面及び、マスク等口を覆うものを着用すること。
- ⑪ 飲食については、所定の場所以外では行わず、対面を避け、できるだけ周囲と間隔を取って、会話をひかえて速やかに済ませるよう指示する。
- ⑫ ゴミの廃棄について、鼻水や唾液などがついたゴミはビニール袋に入れ密閉して捨てるよう指示する。ゴミの回収時にはマスクやゴム手袋を着用する。マスクやゴム手袋を脱いだ後は、必ず石けんと流水で手を洗い、手指消毒をする。

<参考>

〔公益財団法人全日本なぎなた連盟の

「行事(活動)再開に向けた感染拡大防止ガイドライン」] 抜粋

<主催者>

1. 会場を設定する際、密集対策には十分配慮する。
2. 応援者・観客については、十分な密集対策ができない場合は無観客で行う。
3. 大会要項を作成する際、「新型コロナ対策留意事項」の徹底を図る。
4. 大会要項の「留意事項」を遵守できない場合は、出場できない旨を明記する。
5. 開・閉会式を実施しないなど、競技時間短縮に向けた検討を行い、感染リスクの低下をはかる。
6. 会場設営の際、感染防止に関する注意事項を掲示し、周知を図る。
7. 手洗いを励行し、適切な場所にアルコール消毒場所を設置する。
8. 会議室、控え室など複数の人が出入りする場所の消毒、換気を行う。

9. 審判・監督会議等の打ち合わせについては、十分な距離をとり、密閉にならないように換気を行う。
10. 関係者は大会ガイドラインを守り、安全な大会の運営に協力する。
11. 感染拡大の状況によっては、大会を中止する場合があることをあらかじめ要項等へ明記する。

<大会参加者>

1. 以下に該当する者は参加できない。
 - (1) 発熱のある者〈個人差はあるが、一般的に37.5度以上あるもの〉
 - (2) 咳・咽頭痛など風邪の様な症状がある者、その他体調がよくない者
 - (3) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - (4) 過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は該当在住者との濃厚接触者である場合
2. 大会当日検温を行い健康調査票〈別紙〉を大会会場に提出する。
3. マスクを持参する。
4. 競技時以外はマスクを着用し、こまめに手洗い〈30秒以上〉、手指消毒を行う。必要以上の会話は避ける。
5. 会場では、三密〈密閉・密集・密接〉を避けるように心がける。
6. 参加者同士の大きな声援、指示、指導は行わない。競技時以外は決められた場所で周囲との距離を保って観戦する。
7. 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発生した場合は、主催者に速やかに報告する。

<監督・引率者>

1. 大会に参加する場合、本人、保護者の参加同意を得ること。〈体調不良の場合は参加させないこと〉家族に体調不良者や、渡航禁止地域からの帰国2週間以内の参加は控えさせること。
2. マスクの着用及び体調確認を行う。
3. 手洗い、手指・足底の消毒を行う。
4. 用具〈なぎなた、防具、手ぬぐい等〉や水分補給は個人のものを使用する。共有はさせないこと。
5. 競技に関する指導だけでなく、感染予防対策について十分に周知すること。
6. 必要な指示は簡潔に済ませ、競技中は大きな声で応援や指示は控えること。
7. 当日検温を行い、定められた健康調査票を提出すること。
8. 応援関係者を把握しておくこと。

<応援者・観客>

1. 体調不良者の入場は認めない。
2. マスクを着用していない者の入場は認めない。
3. 指定の場所で、周囲の者と十分な距離を保つように求める。
4. 手洗い、手指消毒を行うよう注意喚起する。
5. 大声での声援は禁止とし、会話を控えることを周知する。

6. 上記の事項について、遵守できない者は退場を求める。

<当日受付>

1. 自宅と大会会場との往復の際にはマスクを着用し感染予防につとめる。
2. 入口に手指消毒液を設置し、大会参加者は消毒を行う。
3. 待機列が発生した場合は距離を置いて並ぶ。
4. 健康調査票を確認し体調不良、発熱がある場合は入場を制限する場合がある。
5. 37.5度以上ある者は、入場できない。

<その他>

1. 飲食は、指定場所で行い、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。
2. 食事の空き箱等、持参した物、ゴミは必ず持ち帰ること。
3. 会場・施設のガイドラインに従うこと。

[全国高等学校なぎなた専門部新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について] 抜粋

(1) 開催に当たっては、公益財団法人全国高等学校体育連盟「令和3年度全国高等学校総合体育大会実施時における新型コロナウイルス感染拡大防止等に関する基本方針」及び公益財団法人全日本なぎなた連盟の「行事(活動)再開に向けた感染拡大防止ガイドライン」を遵守し開催する。

(2) 大会中のけがや熱中症発生等の緊急時に対応できる医療機関を事前に把握する。

(3) 参加選手、役員等の安全・安心を最優先とした対策を講じる。

① 事前の通知の徹底

選手、監督・引率顧問及び、競技役員（以下、「大会関係者」とする。）に対し、参加決定や委嘱依頼を通知する際に「参加校用通知」、「委嘱者用通知」を用いて感染予防対策について事前に周知する。また参加校については、「体調管理表」・「行動履歴書」への体調等の記入（検温・風邪症状(発熱・咽頭痛など)の有無)と、学校ごとに集約した「体調管理集約シート」の提出を依頼する。競技役員については「体調管理チェックシート」の提出を求める。さらに、対策・対応の内容を大会当日に会場内へ掲示するなどして周知し、各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認を行う。

② 感染防止の3つの基本

ア 身体的距離の確保

- ・ 人と人との間隔が、できるだけ2メートル(最低1メートル)空くようにする。

イ マスクの着用

- ・ 常にマスク等の着用を徹底する。

ウ 手洗い等の徹底

- ・ 手洗い場等に「手洗いは30秒以上」の掲示をする。
- ・ 手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参するよう周知徹底する。
- ・ 監督・引率顧問は、集合時、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食前後、解散時等、こまめに流水と石けんで手洗いを行うよう、選手に指導する。

③ 感染が疑われる者が出た場合を想定した対策（準備事項）

ア 利用施設や必要に応じて衛生部局等とあらかじめ相談し、緊急時の連絡相談先、医療機関等への搬送等の対応について決めておく。

④ 大会当日

ア 監督・引率顧問は「体調管理集約シート」、競技役員は「体調管理チェックシート」を持参して、受付に提出する。

イ 常にマスクを着用し、咳エチケットを徹底する。

ウ 会場出入り口・トイレなど、所定の場所に手指消毒剤を設置する。

エ 会場到着時や試合の前後・食事の前後などに参加者が手洗いをこまめに行うようアナウンスをする。

オ 手洗い場・トイレに「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。

カ 手洗い場に石けんの準備をする。（手洗いが難しいようなら、手指消毒のアルコール等を準備する。）

キ 更衣の際には、更衣室に1度に入室する人数を、入り口に掲示する。感染予防と更衣室の規模を考慮し、自宅や宿舎から直接来場する選手に対して、事前に着替えを済ませて来るよう事前に通知する。

ク 会場内は、換気設備を適切に運転するなどして、換気を徹底する。

ケ 選手の入退場や待機場所などでの、密集を回避するための人員の配置や動線の確保を行う。

コ 大会会場内に「大きな声での会話をしない」・「声での応援をしない」等の掲示をする。

サ 会場施設内で、複数の参加者が触れたと考えられる場所については、消毒する。

シ 審判旗や競技委員が使用するタイマー等に関しては、使用者が変わる度にアルコール消毒を徹底する。

ス 試合に出場する選手については、シールドを装着した面及び、マスク等口を覆うものを着用すること。

セ 飲食については、所定の場所以外では行わず、対面を避け、できるだけ周囲と間隔を取って、会話をひかえて速やかに済ませるよう指示する。

ソ 大会前後の移動による感染防止として、公共交通機関による3密の回避を目的とした、宿舎－会場間の直行バスの利用を促す。

タ ゴミの廃棄について、鼻水や唾液などがついたゴミはビニール袋に入れ密閉して捨てるよう指示する。ゴミの回収時にはマスクやゴム手袋を着用する。マスクやゴム手袋を脱いだ後は、必ず石けんと流水で手を洗い、手指消毒をする。

(4) 今後の感染状況により、予防対策の変更及び大会を中止する場合がある。